

【当日の流れ】

※名古屋・現地集合の人は到着したら、自分の荷物移動や昼食・(夏は水着への着替え)を済ませる

- ①名古屋&現地スタッフはバスの到着場所（夏はレク棟・春冬はコテージ近くの第2駐車場）で待機し、こどもの誘導・荷物運搬を行う（バススタッフはこどもの誘導はせず、自分の荷物移動を行う）
- ②こども達は大きい荷物・リュックを「レク棟の後方の棚(夏)」または「コテージの自分の部屋(春・冬)」に移動させて、弁当・水筒・お米を持って机に座らせる
- ③こどもは手を洗って昼食を食べる／スタッフは裏でスタッフミーティングを行う
- ④グループごとに簡単な自己紹介【名前・学年・キャンプ参加回数・楽しみにしていること等】
- ⑤班長決め【班長の役割…点呼・じゃんけん・食器回収・**（可能なら）話合いのまとめ役**】
- ⑥全体説明（下記参照）
- ⑦スタッフ紹介【キャンプネーム・一言】※事前にキャンプネーム・話すことを考えておく
- ⑧午後の遊びスタート（夏はここまで水着に着替えておく）

●スタッフミーティング（昼）

- ・自己紹介（名前・キャンプネーム・所属・参加回数・参加動機など）
- ・コアスタッフ（団体職員）…のずーぴー、もりっきー、やなぴー、サザエさん
- ・進行係…のずーぴー 料理係…やなぴー 保健係…ミッキー・しゃねる・ハリー・ぴよなど

※体調不良・怪我発生時は自分で対応せず必ず保健係へ引継ぐ

●全体説明

- ①注意事項（まめに水分補給・給茶器・帽子着用・怪我したら保健係・落し物BOX）
施設説明（トイレ・地図説明・移動はスタッフ同伴・漫画は許可制・虫や鳥・動物が入るので扉は閉める・冬は節水）
- ②ケガした時は保健係が対応
- ③危険なこと
 - ・敷地が広いので迷子注意→こどもだけで行動しない、舗装道路には出ない
 - ・【夏季のみ】ヘビ・マダニがいるので草むらに入らない、雷→屋内に入る・大きい木には近づかない
- ④【夏季のみ】危険生物に注意
 - ・ハチ…草むらに近づかない、攻撃したり払いのけたりしない、大声出さない、黒・黄色の衣類は注意
 - ・アブ…噛まれると痒みが止まらなくなるので体についたらすぐに払う、倒す
 - ※ハチとアブは似てるので注意 ※見分け方…ハエに似ており黄色くない、常に人の周りを飛び回る
 - ・毒蛇…マムシは短くて攻撃的。ヤマカガシは長くて温厚。草むらに入らない、夜に間違えて踏まない。
 - ・マダニ…虫よけスプレーを使う、草むらに入らない、噛まれたら自分で取らずにスタッフへ報告
- ⑤【特に夏季】水分補給（喉が渴いてからでは遅い、小まめに定期的に）、夏はポカリもある
- ⑥【特に冬季】感染症予防として「定期的な換気」「調理・食事前は机を2度拭き&消毒」「調理時マスク着用」「調理前・食事前・遊び後の手洗い・アルコール消毒」「生食食材はビニール手袋」

★スタッフへのお願い★

- ・名簿は個人情報なので、置きっぱなしにせず子どもにも見せない（置きっぱなしの名簿は回収します）
- ・名簿の自分の名前に○を付けて誰の名簿か分かるようにする（置き忘れが誰の物か分かるため）
- ・進行役が前で説明している時に自分の周囲にいる騒がしい子に注意してください
- ・写真のアップではブレた写真や全く同じ写真を何枚もアップしない（写真選別が本当に大変です!!!）
- ・自分の洗い物担当がいつかを把握し、食後すぐに洗い場へ向かう
- ・食事の配膳は進んでやりましょう（特に汁物は危険なため必ずスタッフが各机へ配る）
- ・携帯を子どもに貸さない、写真を撮るために使わせる場合も目の届く範囲内にとどめ自由に使わせない
→1人が貸すと他スタッフの携帯も奪うようになり周囲にまで迷惑がかかります
- ・寝ているスタッフもいるため、緊急時を除いて24～翌6時はLINEグループに写真やメッセージを流さない

<携帯電波・WiFiについて>

auとSoftbankは電波良好ですが、DoCoMoは非常に悪いです（電波状況は別紙参照）

<WiFi設置場所>管理棟…Haruno wifi、ゲストハウス…HarunoyamaやFree-WiFiなど、
コテージ…Cottage wifi、モバイルWiFi…Fujinyan wifi PWはすべて「123456789」

<飲み物について>

ゲストハウスにてジュース（一般価格は150円）とアイス（100円／夏季限定）を1個50円にて現金やPayPayで購入できます。子どもも糖分補給のためジュースは持参可としていますが、購入するところは見られない（買い与えることもしない）ようにしましょう。また、名古屋集合の人にはバス出発後に掃除を手伝っていただきますので、掃除後にジュースやアイスをプレゼントします。

<入浴について>

大浴場で子どもと一緒に入ります。体調が悪いなど他の人と一緒に入れない場合には個室シャワーもありますが、体調不良者以外は基本的に大浴場を利用してください。シャワーを使う場合も子どもの入浴時は手伝って、寝かしつけの時間などに利用してください。

<ドライヤー使用> ※以下の台数を超えるとブレーカーが落ちるので注意

- ・ゲストハウス…使用しない（キャンプ客に迷惑がかかるため）
- ・A棟・B棟…各2台
- ・管理棟（洗濯機前）…1台
- ・体育館…3～4台 ※照明をフル使用すると落ちる可能性があるためドライヤー使用時は照明減らす

<マスク着用方針>

- ・基本的には不要（体調不良時は必須）
- ・調理時や体調不良の時はマスク推奨（強制はしない）